(1) (第19号)	入 善	町	昭和31年10月10日発行
	す。 う。 う。 の 町村合併 によって相称 の 町村合作 によって 市 本 空 均進し に る に りたって あった。 したって あった。 したって し の 日 の 信 組 に さ れ 兄 に の の 日 合 件 に よって 相 様 の 適 道 七 の の 日 合 件 に よって 相 様 の の 日 合 件 に よって 相 様 の の 日 の に し たって 大 ぬ 理 加 さ 合 件 こ の の 日 の に し たって 大 ぬ 理 し 二 ろ 合 件 の の 日 の 一 他 本 う に っ て 本 気 に の の 日 の 一 の 日 の 一 の 日 の 一 の 日 の の 日 の の 日 の の 日 の の 日 の の 日 の の 日 の の 日 の 一 の 日 の の 日 の 一 の 日 の の 日 の の 日 の の 日 の の 日 の 日		
	中央公民館平面図 総延坪数239坪8合5勺 内階上は67坪 (入札の結果330万円をもって柴 垣組が連設することになった。) ← 階下 階上		市町報報 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1
		際合す、 になってに同じた。 「なってに同じた」 になってに同じたのであるに見当の通じた。 たち方々に回じての意志事務 になしい。このの発発 であるに見当の通じであるに見られた。 たち方々に回じての整理であった。 であるに見ようで、 したのの発発での発発です。 であるに見たので、 であるに見たので、 であるので、 であるので、 であるので、 であるので、 であるので、 であるので、 であるので、 であるので、 であるので、 であるので、 であるので、 であるので、 であるので、 であるので、 であるので、 であるので、 でので、 でので、 でので、 でので、 でので、 でので、 でので、	とのた な の た な む た な こ れ た 在 で 廃 た で 成 た の で 廃 た で た の で 読 れ た で 廃 た で た で た の で 読 れ た で 廃 一 、 乃 等 町 役 明 役 場 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の の の の の の の の の の の の の
町内一の大杉省しまる 町内一の大杉省しまる でった。 なった。 なった。 なった。 なった。 なった。 なった。 なった。 での大杉の外植木髭石等 なった。 での大杉の外植木髭石等 たしたところ、田 一等れした。 で、 の一等一門で 一等した。 一等した。 一部で 一部で した。 一部で した。 での 一部で した。 での 一部で した。 の 一部で した。 の で、 町内一 一で こ の 大杉の 小 植木髭 石等 一で 二 一一で 二 一 一 一 一 一 で し に 中 小 〇 一 二 一 一 一 一 で し に 一 の の で、 町内一 一 で 一 の 一 た し た の た る の で 、 町内 一 一 で し た の で の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 日 二 一 一 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 た の つ 、 町 内 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	511115年に 方式で 方式で の形式で の形式で の形式で の たって れって の に あって れって たって れって たって れって たって れって たって れって たって れって たって れって たって れって たって れって たって れって れって れって れって れって れって れって れ		-ffmのよろこでたよろ にようにように たまうにこう なる件町は大きかっただけ 希望 がたまうにこう にようににした にたい たたい たたい たたい たたい たた にして くれることを 過信 にすれ 本 前 の たた した で たた した で たた した で たた した で たた たた たた たた たた たた たた たた の 元 の 市 た の の た で の た っ た た た た た た た た た た っ た っ た っ た こ た っ た っ た っ た っ た た こ た っ た っ た っ た っ た こ た こ た っ た っ た っ た っ た っ た っ た っ た っ た っ た っ た っ た っ た っ た う た う っ た っ っ た っ た っ た っ た っ た っ た っ て っ た っ た っ て っ た っ て っ た っ て っ っ っ っ っ っ っ っ っ っ っ っ っ
れ れ 五、第三回追加更正子算 の 第二回追加更正子算 の 第二回追加更正子算 の 第二回追加更正子算 の 第二回追加更正子算 の 第二回追加更正子算 の 第二回追加更正子算 の 第二回追加更正子算 の 第二回追加更正子算 の 第二回追加更正子算 の の 指 一 大 世 数 世 の 時 大 長 巻 町 防 政 北 っ た っ た の 大 大 志 、 先 決 事 明 の 表 世 い 大 本 寺 二 、 六 決 書 町 防 政 先 っ た の 、 大 志 一 、 入 書 町 防 次 十 元 大 志 二 、 先 沙 町 い 家 二 、 六 売 来 町 町 家 二 、 六 浩 町 町 次 二 、 六 光 三 の 記 一 の 記 の 長 二 の 記 一 に つ の い て の に つ の い て た っ 第 町 い て た の 、 一 に つ の い て た の 、 一 、 二 、 二 、 二 二 二 二 一 二 の に つ の い て の に つ の に つ の い て の に つ 男 の 、 の に 一 の に の 男 の 、 の 、 一 の に の い て の に つ 男 の 、 て の に の の に つ の に の の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の の 、 の の 、 の の 、 の の 、 の の 、 の 、 の 、 の の 、 の 、 の 、 の 、 の 一 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の の 、 の の の の 、 の の の 、 の の の 、 の の の の 、 の の の の 、 の の の の の の の の の の の の の	中は 中 中 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市	うである うである 道路対照条 「 自動車を 指際立路新設 指数が設 指数が設 が設 着路対設 が が の に る た の 記 の 訳 、 派 条 第 の 記 系 う に あ 、 に 路 、 派 条 第 令 一 の 五 五 五 五 五 五 の 訳 、 派 条 第 令 一 の の 、 二 路 つ 訳 の 訳 、 派 条 、 の 一 の 一 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の	※一体他の合併町村は欠の 、どのなかのであったうち、施設整 のもしたいるのたまで、どのようなの 、今回出来た新市町村会社 のまで町村にの国産補助を買ける 、施設整備費はるも 、施設整備受けるも のまご一式、施設整備受けるも のまご一式、施設整備受けるも のまご一式、施設整備受けるも のまご一式、施設整備受けるも のまご一式、施設整備受けるも のまご一式、施設整備受けるも のまご一式、施設整備受けるも のたご一式、どのようとの に、どの に、どの に、この に、どの に、どの に、この に、どの に、この に、この に、どの に、この に、この に、この に、この に、この に、この に、この に、こ
▲ 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1. 議 き他、本点学の充の 手て講新 する堂屋 ム なのうもおの廃を備	▲中・小学校統合 中・小学校統合 小学校統合 シ所読廃合成合 二四 小学校統合 二四 小学校統合 二四 小学校統合 二四 二四 本子校統合 二四 二四 二四 二四 二四 二四 二四 二四 二四 二四	▲オンルト単 ▲オンルト単 ▲オンルト単 ▲オンルト単 ▲オンルト単 本方が高校部 支所新雄小 支所新雄小 支所新雄小 支所新雄小 支所新雄 た。中上、 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大
 ア・ア・フィング・シート ア・ア・フィング・シート ア・ア・フィング・シート ア・ア・フィング・シート ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・	 <	算員長 長安 安員 大 吉 光 場 林 寺 新田員 長 大 吉 城 崎 田 武 大 吉 城 勝 七 大 吉 坂 大 吉 坂 大 吉 大 吉 大 吉 大 吉 大 大 吉 大 大 吉 大 大 吉 大 大 吉 大 大 吉 大 大 吉 大 大 吉 大 大 吉 大 大 吉 大 大 吉 大 大 吉 大 大 吉 大 一 大 古 大 古 大 古 大 古 大 古 大 二 八 二 八 八 二 八 八 二 八 八 二 八 八 二 八 八 二 八 八 二 八 八 二 八 八 二 八 八 二 八 八 二 八 八 二 八 八 二 八 八 二 八 八 二 八 八 二 八 八 二 八 八 二 八 八 二 八 〇 二 八 〇 二 〇 〇 二 〇 〇 二 〇 〇 〇 〇	建設相吉原海田 した。 一種設括 日本 一種 一種 一種 一種 一種 一種 一種 一種 一 一 一 一 一 一 一 一 一 早 朝 の 急行 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一
	通して地方公共団体等に融 の会はたいなは五十七日は防ちい 高して地方公共団体等に融 ののなお、十月十七日は防ちい 高したの道を 数でする。 はかなるたちに一個 切りののしてもた成 省資金の参考 ののして地方公共団体等に に 地方の道を 数での一日本の した一個 な を た のの世界 のの して地方の に な を の の し の し の し の し の し の し の し の し の し	のため、 のなどの のであり、 のであり、 のであり、 のであり、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので	岸を親来 を親来 を親来 を親来 を親来 を た馬場等 た た 馬場に下車した馬 場 た に た 県 した 思 、 祝 に 下 車 した 馬 勝 で 市 む に 下 車 した 馬 場 で 、 抽 木 県 県 院 で 市 市 沢 に 下 車 し た 馬 場 る で の 地 元 町 大 県 島 で う 抽 木 県 県 、 市 本 た 馬 場 る で の 地 元 町 大 県 島 、 一 和 大 県 馬 、 一 和 大 県 馬 、 一 和 大 県 馬 る ろ ろ ん た 馬 場 る う の え た 男 、 の え 二 新 る ち 、 た 来 う の え た ま 、 の え た 、 、 の え ま の え ま を ろ た の ま の え ま の え た あ う の ん ま き い 、 た 男 る ち 、 た 男 る ち 、 た あ う の ん ま き う の え ま う た あ う の ん ま き う 、 た 、 ち う 、 た 、 た ろ た ろ た ろ た ろ た ろ た の し た ろ た ろ た ろ た ろ た ろ た の ま も 、 来 え ん た ろ た ろ た ろ た ろ た ろ た ろ た の 本 の て の あ ち ろ た ろ た ろ た ろ た ろ た ろ た ろ た ろ た ろ た ろ ち ろ ろ ろ ろ ろ ろ た ろ た ろ た ろ た ろ た ろ た ろ た ろ た ろ た ろ た ろ ろ ろ ろ ろ ろ た ろ ろ ろ ろ ろ ろ ろ ろ ろ ろ ろ ろ ろ
本 した。 した。 した。 した。 した。 した。 した。 した。	同年三月下旬、藤原、前 に起いていた。 ならした。 は、 の一部です。 の一です。 の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	************************************	小限度に止め、抹制の適 小限度に止め、抹制の適 、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に
本庁型連絡所統 町本大庁運連絡所統 町本大庁運連経費 田町本大庁運連経費 田町本大庁運連経動 御町町本大庁運連経動 田町本大庁運連経動 田町本大庁運連経動 田町本大庁運連経動 田町本大庁運連経動 田町本大庁運連経動 田町本大庁運連経動 田町本大庁運連経動 田町本大庁運連経動 田町本大庁運連経動 田町本大庁運連経動 田町本大庁運連経動 田町本大庁運連経動 田町本大庁運連経動 田町本大庁運連をした 田町本大学工会 田町本大学工会 田町本大学工会 田町本大学工会 田町本大学工会 田町本大学工会 田町本大学工会 田町本大学工会 田町本大学工会 田町本大学工会 田市本大学工会		時間の 「た。 の 、 の た 。 の た の の 、 の た の 、 の た の 、 の た の 、 の た の 、 の た の の の の 、 の た の 、 の た の 、 の た の 、 の た の 、 の た の 、 の た の 、 の の ん の た の 、 の の の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の の の 、 の 、 の の の の の の の の の の の の の	ない ない からして からして からして からして からして からして からして からして からして からして からして からして からして でで さなんで引いた。 からして にたで、 本部川を起え、 本部一で たでの たで、 たで、 たで、 たで、 たで、 たで、 たで、 たで、

(第19号)	入	著	周丁	奉及	昭和3	1年10月10日务	卷行 (2)
昭和30年度金鉄管下- 西 (荷物极收益) """""""""""""""""""""""""""""""""""""	東(力) ************************************	客客扱收益) "前小閑大横 頭結腸閉網二 ニニロ六八三 ・〇二二〇二八二 ・〇二二〇二八二 ・〇二二〇二八七 ・ 金 生 七〇〇二八二 ・ 二三一六八高福富金 生 七〇〇〇二 ・ 二二〇二八七 ・ 七〇〇〇二 ・ 二二〇二 ・ 、 高岡井山沢 ・ 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	ますが、この趣旨や取扱計 た防犯相談所を設けており め、本署と朝日警部派出町 がしても犯罪を防止するため、本署と朝日警部派出町	Superson Superson Superson 利用し Superson 利用し	方 巳 目 炎	○て白幡司様米とてならず、ものは、一四一時の見込み、 ものの、これまた黒穂とな 足のため配給を必要とする ものにと期待をかけていた「であり、完全農家で成米不 るのにに一夜にして同穂と の営農資金の融資を必要とする るに一夜にして同穂と の営農資金の融資を必要とする した。せめてその後に出 する農家見込数は一三六戸 となっている。	補 と へ 黒 被 悪 次 悪 状 沃
 川浜気等見浜川賀倉港松町山生田港 元 ホ 第2000円四四四五五五六六六六七七八四五六六八八〇六七〇〇一八二四一 金大黒福松笹栗輪入福砺糸大栗石今 広 港田範光仕津野島著野波川門津動庄 	善橋津水 川島 ⁶ 7	武片魚 (交 作見蔵町川動原交浜 交交	年中に県下さいま、 「取りいたします。 「たいま、 「たいま、 「たいま、 「たいま、 「たいま、 「たいま、 「たいま、 「たいま、 「たいま、」 「たいま、 「たいま、」	入	二号、大正糯、農 四六七		九九戸)であるが、威収に れ九戸)である。 、本町の植村品種の主 後家見込数は一、三九五戸 農家見込数は一、三九五戸 農家しためたに示す。
に登記時では、 たれの所不可能で、 たれの所不可能で、 たれの所有のものであるか、 またたいがくもあるのもの定 になったなるながして演進に対しった。 たれの所有のものですが、 そであるか、 またたでがする概にされにされた。 たれの所有のもので家屋に対しった。 たれの所有のものでなるか、 またたるのものでなるか、 またたるのものでなるの たれの引ます。 他でなるたけですが、 その結晶でのものですが、 その結晶でのものでは したなられにされば したなられにされば したなられにする。 たれいには、 ではります。 ではしたまでは、 ではしたまでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、		地方法で、	に関係ある争いで、犯罪の発生 で関する問題 生、及び人権問題 生、及び人権問題 生、及び人権問題 生、及び人権問題 生、及び人権問題 生、及び人権問題 生、及び人権問題 ため他経済、労働、	生活苦や家庭の争いの方がしております。	いていこといております。 ため現在にありますから、その が内でありますから、その がの次在に調査中のものが大 ため現在の方に満足 のが次年にあった。 その のが のが のが のが のが のが の たい 見 が の が の たい 言 た	るのことが不適当な場合で いた、 うな、 の理由は警察が相談に応い たたいして御相 しております。 の理由は警察が相談に応い たたいして御相 しております。	年の不良化防止に関係あるある。 あるものが一番多く、青少労働、経済、住宅等に関係、 また相談されることは、 、六件になっております。 いう低調さで当署の分は十 いう低調さで当署の分は十
約二百六円の金品が、 ホームの金属市 でいただか取るの たかのた気で たかのた気で たかかして気いたたか たので気間で たかかして気の温かいた たたの気で た気に気の た気で た気に、 なない た気に、 なない た気に、 なない た気に、 たの た気に、 たの た気で た気に、 たの た気で た気で た気で た気で た気で た気で た気で た気で	によく、一方りより高利 期する上から法律上国民に 期告の義務を强制の安全、保護を	覆いていて	で、前に近へたような初書 いたものは見上するこ とが出来る。 の現況によるものであり、 良上はいずれも十月一日 とが出来る。のであり、 農業共済組合長の証明書が	得税の申告が終っている人。ことが出来る。(純農家)、また兼業農家で八月に所	は脱務署に対して所得税の入の三割以下になった場合所得税減額申請できる不能である。	すか。 また相談を受けた話につ また相談を受けた話につ います。よう係では望んで	おられる方はおられないでおいたいででおったからなくて困って手なたれる方はなくて困ってきないためらなくて困ってくいんや、隣り近所の小さないけではなく、ふだん子供されられたものがってもいいが、これのみたります
す。 の 影響の になられたで、人の の になったす。 一方にないよう早く の になった。 一方にないよう早く の になられたで、人の の になった。 一方にないよう早く の になった。 一方にないよう早く の になられたで、人の の になった。 一方に になられたで、人の の になった。 一方に になられたで、人の の になった。 一方に たれたで、人の の になった。 一方に たれたで、人の の になった。 一方に たれたで、人の の になった。 一方に たれたで、人の の に、 たがられまた。 一で、 の に、 たまた。 一方に たた、 たた、 一 に、 た の に、 た で に、 た の に、 た で に、 た の に、 た で に、 た で に、 た で に、 た で に、 た で に、 た で に た に た で に た で に た で に た で に た で に た で に た で 、 た の に た で 、 た で 近 に た で 、 に た の に ま た で 、 で に た に た で 近 に た で 近 に た で 、 に た 、 二 に に た に た 二 で 二 に に た 、 一 に に た 二 で 二 に に た い に た 、 で に に た また で 、 で に に た また た 、 た た 、 た に た た た 、 で た に た た た た た た た た た た た た た	自転車には必ず差札をつ 取締りは厳重です	及 一 入 上 青 飯 木 野 招 屋 山 山 計 村 横 横	現金 40,770 ^m 40,110 13,280 54,375 54,375 26,520 36,130 11,190 1石 32,790 275,165 8石44 4石9 4石9 4石9 4 4 4 4 4 4 4 4 5 5 4 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5	米 評価額 新 24,510 新 56,555 11,400	衣 数量 0 ^円 3743点 1105点 8 777点 5 295点 784点 960点 928点	<u>類</u> 产価額 275.800 ²⁴ 138.500 257.800 257.800 277.800 277.800 277.800 277.800 277.800 277.800 178.610 169.920 175.000 169.920 169.920 169.920 169.920 169.920 175.000 175.000 175.000 175.000 175.000 175.000 175.000 175.000 175.000 175.000 175.000 175.000 175.000 175.000 175.000 175.920 175.000 107.520 107.50	- 魚 通 を災か
り、 会日開所か 記 な み ま た に よ っ こ の た に よ っ た に に よ っ た に に よ っ た に に よ っ た に に よ っ た に に よ っ た に に ち っ の 山 下 駅 転 町 長 む ま た で 売 に 町 派 大 善 町 町 駅 歌 丁 の 一 町 歌 丁 の 一 町 歌 丁 の 一 町 歌 丁 の 一 下 歌 丁 の 一 下 歌 長 の し で の に に い っ た っ た で た い 売 に 町 い て の っ の で の で の 市 り 一 開 所 の 間 の か の の の 一 い 歌 う と の 山 に 彩 い え ん で 志 に に お い る っ た で し た る た た で た で の た の 一 い 歌 し い う と に お い ち む た で あ の 一 の 町 の 間 の 朝 の 聞 殿 し っ た た に た い た こ た た こ た た で の の の の の の の の の の の の の	でしかも十年間余も継続し て泰仕しておられることは ている。 そこで十月十四日は鉄道	こし、岡本さんのように独力 などの運動で、女子青年たこともあった。しか ちが希仕をして各駅の待合 たたこともあった。しか	いたの虚脱と混乱とですさ の場合にのないた。 お花で年外率仕しておられ たなって高から今日まで し、その当時から今日まで し、その当時から今日まで たまって温かみな々に、お花 をの当時から今日まで	」の試尋中に过くてあるの う。 話題の主岡本いしさんは	本町報の「入善駅を訪ねる 家の報の「入善駅を訪ねる 無料奉仕して居られる篤志 無料奉仕して居られる篤志	な九お領で円住した区、し、の利	●盛去エ田工 ●広売 ●大 の門中会今 ■ 「 ● た た の 門 中 会 今 ■ ● た 、 門 中 会 今 ■ し 、 の 一 、 の 一 の の の の の の の の の の の の の
「 一次して 水井 なりて 水井 除 た 約の読書案内 に 約の読書案内 に 約の読書案内 に 約の読書案内 に 数の読書案内 に 数の読書案内 に 数の読書案内 に 数の読書 ま 和名	- ノえに	で、共同募金運動が十月一 て、共同募金運動が中国人 にの運動がはじまってか にの運動がはじまってか にの運動がはじまってか	国民たすけあい運動とし	紅葉狩・皆んなの	頂上に達した時には十度 る多々々の25世カ食禾本36 に達した時には十度	 まこえ その勝うこえて、 たいにしていたい たいにしていたい たいにしていたい たいにしていたい たいから たいのの たいから たいから	フエン現金。 高時によくフエン現金。 入善 ス 時によくフエン現金。 入善
日本社会主義運動史 三人会主義運動史 日本社会主義運動史 二〇〇%の人生 田畑大郎 三代の青春論 約合正維 三代の青春論 約合正維 三代大学 二〇〇%の人生 田畑大郎 三代大学 二〇〇%の人生 王島 勉 三代大学 二〇〇%の人生 王島 一〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	社会福祉協議	本。 本の 本で 本の ますの で、 券金目 いしますの で、 券金目 いしますの で、 券金目 いしますの で、 券金目	し」たことは深く感謝していま	皆んなの			とは?
大だいまない。 大だいまない。 大だいまない。 大だいまない。 からした人のい気の、 したたいまで、 したたいまで、 しただいまで、 したで、 しただいまで、 しただいまで、 したで、 したで、 したで、 したで、 しただいまで、 したで、 して、 したで、 して、 したで、 したで、 して、 したで、 して、 したで、 したで、 して、 したで、 して、 して、 して、 して、 して、 して、 して、 して	院 書 雑 記 の 流 域 二 宗 白 島 八 一 端 ち で 宗 ら 島 八 一 端 ち の 流 域 二 宗 ら ら 八 一 端 ち の 流 域 二 宗 ら ら 八 来 る 湖 一 二 宗 ら に 新 の 流 域 二 宗 ら ら に い こ に 新 の 流 域 二 宗 ら ら に 明 の 流 域 二 宗 ら ら に 明 一 、 る に 朝 一 、 ち ら の 流 域 二 宗 ら に の 、 る 、 初 一 一 二 に 氏 明 の 、 る 、 初 一 二 に に 宗 こ の 流 、 る 一 、 こ に の に の 、 る 、 初 一 二 に に い に に の 、 る 、 の の 、 の 、 の 、 の ら 、 の 、 の の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の の 、 の 、 の の の 、 の 、 の 、 の の 、 の の 、 の 、 の 、 の の の 、 の 、 の 、 の 、 の の の の の の の の の の の の の	卓 中 二 二 二 二 に に 二 に に 二 に に 二 に に 一 二 の に 二 た い 二 の に 二 た い 二 の に 二 か 二 の に 二 か 二 の に 二 か 二 の に 二 の に 二 の に 二 の に 二 の に 、 二 の に 、 二 の に 、 、 の に 、 二 の に 、 二 の に 、 、 の に 、 、 の に 、 、 の に 、 、 の に 、 、 の に 、 、 の に 、 、 の に 、 、 の に 、 、 の の に 、 、 の に 、 、 の に 、 、 の の に 、 、 の の に 、 、 の の に 、 、 の の に 、 、 の の こ 、 の の に 、 の 、 の の こ 、 の の 、 の 、 の 、 の 、 の の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の の 、 の の 、 の の こ 、 の の の こ 、 の の の の 、 の の の の こ 、 の の の の こ 、 の の の の の の の の の の の の の	日本の文様 日本の文様 日本の現代版 書思地孝四郎 日本の現代版 書思地孝四郎 小林 和 開 勝 勝 勝 勝 勝 勝 勝 勝 二 明 後 余 の 次統 一 田 御 の 史術	暮しの知恵と美しさ	·風速一五メートル以上 ・湿度四〇を下り、風速 (2)特別火災警報	 (1)普通火災 (2) (1) 音通火災 (2) (1) 音通火災 (4) (1) 音通火災 (4) (1) 音通火災 (4) (1) 音通火災 (5) (1) 音通火災 (6) (1) 音通火災 (7) (1) 音通火災 (7) (1) 音通火災 (7) (1) 音加火災 (7) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1	も火災警報が発令される またよったものである。 家によったものである。 アエン現象の際はいつ フエン現の記録は、昭和八年 フエン現